

April 6, 2021

【前日の為替概況】米 10 年債利回り 1.7%へ低下でドル安、対円 109.96 円、対ユーロ 1.1820 ドル

5日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反発。終値は1.1813ドルと前営業日NY終値(1.1759ドル)と比べて0.0054ドル程度のユーロ高水準だった。連休明けの米国株相場が上昇して始まり、史上最高値を更新するとリスク・オンのドル売りが先行。前週末の高値1.1786ドルを上抜けて一時1.1820ドルと3月25日以来の高値を付けた。3月米サービス部門・総合PMI改定値は速報値から上方修正され、3月米ISM非製造業指数は63.7と予想の58.5を上回ったものの、相場の反応は鈍くドル売りの流れが継続した。

ドル円は反落。終値は110.18円と前営業日NY終値(110.69円)と比べて51銭程度のドル安水準だった。米国株相場の上昇を背景にリスク・オンのドル売りが先行。前週末の安値110.38円を下抜けて一時109.96円まで下げ足を速めた。主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時92.54と3月25日以来の安値を付けた。ただ、109円台では押し目を拾いたい向きも多く、売り一巡後は110円台前半で下げ渋った。市場では「ロンドン16時(日本時間24時)のフィキシングに絡んだドル買いのフローが観測された」との指摘もあり、一時110.25円付近まで下げ幅を縮める場面があった。

イエレン米財務長官はこの日、過去30年にわたる法人税率引き下げ競争に終止符を打つため、G20に「法人税に世界的な最低税率を設定することで合意するよう働きかけている」と発言。一方、コロナ禍勝利宣言はまだできないとして、「強力な財政支援策を尚早に引き揚げないよう呼び掛ける」と述べた。

ユーロ円は小幅ながら続落。終値は130.14円と前営業日NY終値(130.17円)と比べて3銭程度のユーロ安水準。ただ、NY市場ではドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、相場は方向感が出なかった。

【本日の東京為替見通し】豪ドル、豪準備銀行(RBA)声明に要注目

本日の東京外国為替市場のドル円は、ニューヨーク株式市場の上昇を受けたリスク選好のドル売り、米10年債利回りの1.70%台までの低下を受けたドル売り、ニューヨーク原油相場の大幅反落によるドル売りなどで、上値が重い展開が予想される。

ドル円のオーダー状況は、上値には、110.80-90円に断続的にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、111.00円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、110.00円に7日のNYカットオプション、109.90円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売り、109.80円にはドル買いオーダーが控えている。

10時45分に発表される3月Caixin中国サービス部門購買担当者景気指数(PMI)の予想は52.1で、2月の51.5からの改善が見込まれている。予想通りの改善ならば、リスク選好要因となるものの、オーストラリアや日本と中国との関係緊迫化を受けて、反応は限定的だと思われる。

13時30分に発表される豪準備銀行(RBA)理事会での金融政策は、オフィシャル・キャッシュ・レート(OCR)の誘導目標と3年債利回り目標の0.10%での据え置きが予想されており、声明文が要注目となる。3月のRBA理事会は雇用に関して「賃金の伸びを現在よりも大幅に高める必要があり、そのためには雇用が大幅に増加し、引き締まった労働市場に戻る必要がある」とした。理事会後に発表された2月の失業率は5.8%と1月の6.4%から大幅に改善しており、RBAの声明変更につながるか要注目となる。

ユーロドルは、欧州中央銀行(ECB)によるパンデミック緊急資産購入プログラム(PEPP)の下で行う資産買入れの大幅拡大、英国との北アイルランドやワクチン供給を巡る対立、都市封鎖(ロックダウン)による景気減速への警戒感から上値が重い展開が予想される。

ポンドドルは、北アイルランド」を巡る欧州との対立激化懸念、今週開催されている国際通貨基金(IMF)総会で特別引出権(SDR)の新構成割合でのポンド比率の引き下げへの警戒感が残る。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ◇ 2月毎月勤労統計（現金給与総額、予想：前年比▲0.6%）
- 08:30 ◇ 2月家計調査（消費支出、予想：前年比▲5.3%）

<海外>

- 10:45 ◎ 3月 Caixin 中国サービス部門購買担当者景気指数（PMI、予想：52.1）
- 13:30 ☆ 豪準備銀行（RBA）政策金利発表（予想：0.10%で据え置き）
- 18:00 ◎ 2月ユーロ圏失業率（予想：8.1%）
- 7日 01:00 ◎ 3月ロシア消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.6%）
- 国際通貨基金（IMF）、世界経済見通しを公表
- 香港（イースターマンデーの振り替え）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

5日 11:23 加藤官房長官

「中国海軍を引き続き注視、警戒監視活動に万全を期したい」

※ミサイル駆逐艦の沖縄海域通過で

6日 00:14 イエレン米財務長官

「他国に早期の財政引き締めを避けるよう呼びかけ」

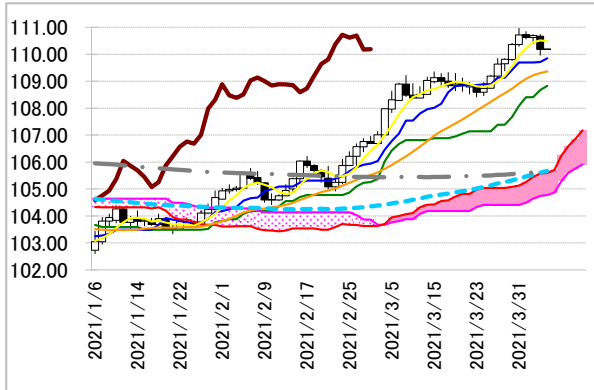
「G20と協力し、世界的な最低法人税について合意する」

「法人税率引き下げ競争をやめるように訴える」

「バイデン大統領のインフラ計画が物価上昇圧力につながるかどうかは疑問」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

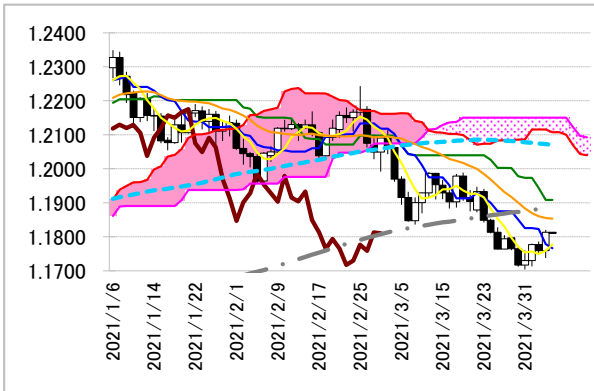


<ドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目均衡表・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で引けていることから、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。6手連続陽線で上昇した後、抱き線で反落したものの転換線を上回って引けていることから、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	110.97(3/31 高値)
前日終値	110.18
サポート1	109.85(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	108.83(日足一目均衡表・基準線)

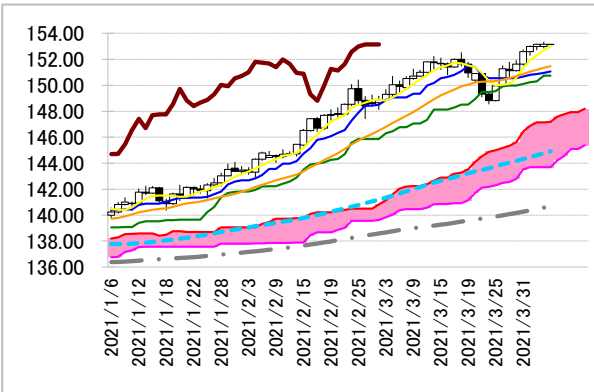


<ユーロドル=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることから、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、抱き線(アウトサイド・デイ)で反発し、転換線を上回って引けていることから続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1909(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	1.1813
サポート1	1.1766(日足一目均衡表・転換線)

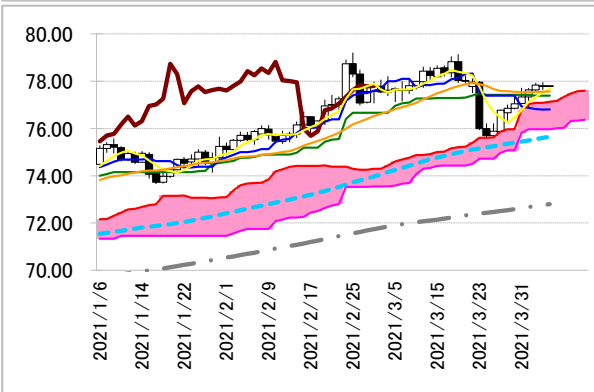


<ポンド円=4/1の安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることから、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。5手連続陽線で上昇トレンドを形成しており、転換線を上回って引けていることから続伸の可能性が示唆されている。

本日は、4月1日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	153.76(2018/4/20 週高値)
前日終値	153.15
サポート1	152.30(4/1 安値)



<NZドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は基準線を下回っているものの、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることから、買いシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陰線で反落しているものの、転換線を上回っていることから反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	79.14(3/18 高値)
前日終値	77.78
サポート1	76.81(日足一目均衡表・転換線)

